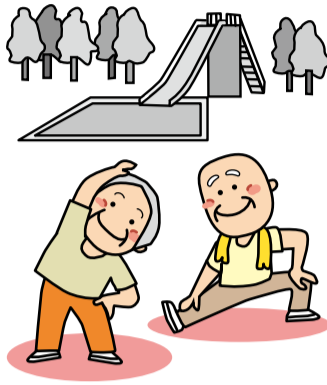


代表質問

区政を

本会議の録画中継を
区議会ホームページでご覧いただけます。
ホームページ <http://www.gikai-adachi.jp>



また、老人クラブ連合会が行う健康づくり事業への助成等も行って。今後は、比較的若い世代にも魅力を感じていただけるクラブづくりに向けた支援を行っていく。

【生涯学習】②「パークで筋トレ」は現在6カ所で開催しており、各会場30人から40人の参加者がある。今後は、フィットネス指導者連絡会等と連携を強化して、平成23年度に向けて拡大を目指す。「ウォーキング教室」は2カ所で開催しており、各会場15人から20人の参加がある。今後は、新たなコースを設定し、教室を開催する予定である。

待機児童増加の要因は何か

【問】待機児童が増えている要因について、区はどのような分析をしているのか。

また、それを踏まえ、今後の待機児童対策の方向性を伺う。

【子ども】待機児童増加の要因は、大規模開発に伴うファミリー層の転入に加え、経済不況による影響が強いと考える。当面の待機児童対策としては、フルタイム就労世帯の待機児童の解消を最優先で進めるとともに、就労形態に応じた保育メニューの充実を図っていく。

【問】都市計画決定されている公園や道路の取り組みを伺う

【問】都市計画決定されている

公園や道路が多数あるが、規模の大きさのため関係機関の調整が進まず、具体的に進んでいない現状である。今後、どのように取り組んでいく予定か。

【都市建設】都市計画決定された道路や公園は将来の足立区にとって、都市としての快適性等の面で大切な都市施設と考える。都市計画道路の整備率は現在73.9%であり、今後も財政計画と整合を図り、第三次事業化計画の優先整備路線の早期整備に向けて取り組んでいく。

また、都市計画公園のうち、都立の舎人公園と中川公園は早期完成を引き続き都に要望する。区立の未整備の公園は、位置規模等の面から計画の見直しを含め効率的な整備の方策を検討していく。

【問】補助第253号線等の事業を再開すべきだ

【問】補助253線事業等、事業がある程度進んできたにもかかわらず、現在事業が止まっているものについて、国の補助金の見直し等がつけば、事業の再開等を行うべきだと思いが見解を伺う。

【道路整備】国の補助制度は、地方公共団体にとって自由度が高く、創意工夫を生かせる総合的な交付金となったが、今後の国の財源については不透明な部分もある。

また、都市計画事業の実施には、国の財源に加え、区の財源確保も必要であり、中期財政計画の見直しの中で事業優先度を考慮し検討する。

【問】新たな学習指導要領が小

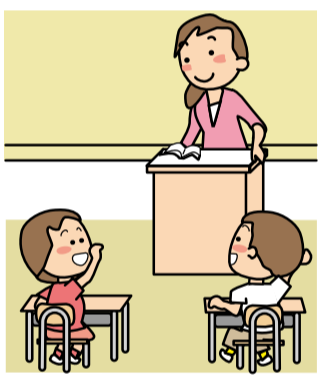
学校では来年度、中学校では平成24年度から全面实施され、今回は全面改訂された教科書の採択となる。そこで、教科書採択の権限と責任を持つ区教育委員会の所感を伺う。

【教委長】今回採択する教科書は「公共の精神を尊ぶ」こと等改正教育基本法の理念を反映した学習指導要領に基づく初めての教科書となる。そうした主旨を十分踏まえながら研究・検討を重ね、子どもたちの実態に適した教科書を責任をもって採択していく。

【教育振興ビジョン】作成の考え方は何か

【問】本年4月策定の「教育振興ビジョン」は教育基本法を受けてのものと思うが、基本的な考え方を伺う。

【教育長】国の「教育振興基本計画」の主旨を念頭に、何よりも家庭に、子どもたちのいる保護者に、区教育委員会が目指しているもの、力を入れて、事業に関心を持っていただくことを目的に策定した。一人でも多くの保護者の目に留まることが「相互連携による教育」実現へのスタートと思いい、6万部作成し、小中学生を中心とした子どもたちのいる家庭に配布した。



【問】郷土博物館の今後の展望をどのように考えているのか

【問】文化は活力ある地域社会を形成する上で、極めて重要であるが、リニューアル1年を迎えた郷土博物館はどのようなPR努力をしてきたのか。

また、今後の展示計画等の展望も合わせて伺う。

足立区議会公明党

「乳がん・子宮頸がん検診の無料クーポン」の継続と「子宮頸がんワクチン」接種への公費助成を!



公明党
金沢 美矢子 議員

【問】文化は活力ある地域社会を形成する上で、極めて重要であるが、リニューアル1年を迎えた郷土博物館はどのようなPR努力をしてきたのか。

また、今後の展示計画等の展望も合わせて伺う。

【生涯学習】リニューアルオープンの際は、校長会を通じての小中学生への周知、あだち広報やホームページ等でのPRに加えて、今後の展示計画等の展望も合わせて伺う。

【区長】足立区のイメージアップには、庁内連携に加え、区民の参加・協力が不可欠である。区民一人ひとりが足立区のスポークスマン等として、魅力を幅広く発信する等、多様で柔軟な新しい協働関係を目指していく。

また、民間採用の担当者には、

え、各種イベントの実施では、文化団体等の多くの区民にご協力いただき、広めることができ。この結果、開設以来、最高の集客数を記録した。今後の展望については「文化遺産」「収蔵資料」「話題性」の3つの切り口を設け、さらに区オリジナルの魅力を持ち、これまで多くの方の目に触れていない、意外性のある展示を計画している。

顧客満足度の切り口を施策に織り込む手法等の伝授を期待する。成果は数値として追求していく。若者の定住のために区が描くあだちの未来図は

【問】若者の定住施策について、新たな発想で総合的に取り組みを進めることが急務である。区は「あだち未来図若年層区民意識調査」を実施したが、調査結果をどのように分析し、今後のあだちの未来図を描くのか。

【広報】調査結果から、20代から30代の若年層の定着を図るためには、「治安が悪い」というマイナスイメージを払拭し、子育て・教育環境を充実することが重要と考える。

このため、重点プロジェクト

を着実に推進し、シティプロモーションを積極的に進めていくことで、増えつつある若年層のさらなる流入と定着を進め、賑わいのある誇れる足立区へと変えていく考えである。

【問】わが党が提案をしていた「足立の花火」会場でのプライダイベント企画が新聞に掲載された。今後「光の祭典」等でも開催すべきだかどうか。

また、区のイベントや施設を活用し、区内外へ若者の定住を図るメッセージを発信していくべきだかどうか。

【産業経済】プライダイベントについては、今後も会場の形態等を勘案し、他のイベントでの実施を検討していく。

また、区開催のイベントの効果は大変大きい。機会を有効に活用してメッセージを発信し、若者の定住を図っていく。

【問】千住桜木二丁目の旧勤労青少年寮を大学の学生寮に

